

【資料2】

今年度事業報告 大島支庁 奄美群島サイクルツーリズム構築事業



七十周年
日本復帰
奄美群島

実施主体:大島支庁総務企画課

[1]各島にて協議会の開催（開催地／日付／参加者数 ※県協議会 大島地域部会の役割）

奄美大島	9/28(木)	22名
喜界島	9/29(金)	11名
徳之島	10/4(水)	16名
沖永良部島	10/3(火)	12名
与論島	10/2(月)	9名

●3年目事業として、地域のサイクリスト、アウトドア事業者ガイド等を新たに加えて、地域の受入態勢の推進へ向けた会議開催とした。
●2部制とし、第1部は会場のみで事業計画の共有、ワークショップを開催し、官民一体となった議論を行った。第2部はワークショップの課題の延長線上となる各島のテーマに沿った多彩な講師による講話を実施。会場と全島からオンライン参加が可能なハイブリット形式で実施。YouTubeによる見逃し配信・アンケート調査を行った。



◆ワークショップのテーマ（議論内容は議事録配信時に資料を作成し、参加者と共有）

- ①受入環境整備(来訪するサイクリング観光客へのおすすめスポット、課題等)
- ②モデルルート 走行環境整備について(注意喚起箇所の共有や道路管理部署との資料を共有)



●モデルルート全5島11コースについて、区間ごとに管理部署別(国・県・市町村)に分類し、警察署も交えて注意喚起箇所の確認と整備要望の優先度を記載した資料を作成。道路管理部署と共有し、今後の道路整備の参考となるように取りまとめを実施。

(今年度は、奄美空港付近の県道を整備予定。)
●協議会前後に地域のサイクリスト等と実走検証を実施し、過年度に設定したモデルルート11コースについて走行環境の再検証と情報のアップデート共有を行った。



◆意見交換 今後の方向性について(各島の課題解決やサイクルツーリズム推進に関するアイデア)※次頁参照

◆講話のテーマ「先進地に学ぶサイクルツーリズムセミナー」をテーマとして60分の講話を実施

- 奄美大島 「アドベンチャーツーリズムの可能性について」 滝川望氏(アドベンチャーバケーションネットワーク代表)
- 喜界島 「地域資源活用サイクリングプログラム造成のための受け入れホスピタリティ」 加藤香穂里氏(Brezzaアドバイザー)
- 徳之島 「サイクリストコミュニティ創造のノウハウとその運営」 箴島洋敏氏(Brezza代表)
- 沖永良部島 『レビューUP・リピート率UP』の為にコミュニケーション術 長谷川恭子氏(Brezzaアンバサダースクール講師)
- 与論島 「散走型コンテンツによる観光資源活用」 室谷恵美氏(一社/散走ネットワーク事務局)

★参考:[意見交換]サイクルツーリズム構築の課題解決へ向けた今後の方向性について



各島・地域において島独自の地域性・魅力をサイクルツーリズムを通じて発信していくために、今後どのようなことを取組むべきかを自由に意見交換。

地域	[過年度]協議会の課題認識	令和5年度(意見交換のおもな内容) ※議事録より抜粋
[全体方針]	<p>[R3方針]目標は「しまなみ海道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットは中級向け, 初級層取込み, 観光消費額を増大化 ・基本知識の習得, 取組みへの理解・共有 <p>[R4方針]前年度継続, 喜界島, 与論島の新規参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察(しまなみ), 民間事業者の参画, 一般観光客視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地成功事例は、地域住民の参画と受入態勢 ・事業の自走化へ向けた地域住民の参画意識の醸成
奄美大島協議会	<p>[R3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Eバイク導入は各地域内で完結, 広域連携と世界遺産取組が課題 ・県全体構想と地域の役割の理解と明確化 <p>[R4]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー検証, 輸行課題 ・スタンプラリー導入の計画事業との連携を模索 ・2次交通としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロレース開催(アマイチ)をしてはどうか, サイクルイベントを復活させたい ・住民の理解を得る活動 ・協議会の進め方を再考しプラットフォーム化, 各分野の意見をどう引出すか ・2次交通が課題 ・Eバイクの活用方法
喜界島協議会	<p>[R4より開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年前に導入したEバイクの活用 ・世界自然遺産奄美トレイルのルート化 ・農繁期の注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ・Eバイク活用方法(レンタサイクル事業者との棲み分けのため観光協会ではツアーのみ実施) ・ガイドツアープログラム造成(サトウキビ畑等の地域資源活用) ・地域体験を案内できるガイド役を育成
徳之島協議会	<p>[R3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングへの親和性 ・世界自然遺産の地域資源をどう結び付けていくか <p>[R4]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー検証, 輸行課題 ・協議会参加者の減少, サイクリスト支援施設が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストへの島民の理解が徳之島の強みであることを活かす ・トライアスロンに参加するサイクリストの消費拡大が課題 ・サイクルツーリズムにおいても各事業者がつながり, 予算を確保しプロモーションへとつなげていきたい
沖永良部島協議会	<p>[R3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標識の整備やグレーチングの整備が必要なため, 注意喚起 ・飲食店が少ない <p>[R4]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー検証, 輸行課題, 自転車店が無い ・協議会参加者の減少, ガイド育成に力点, 支援施設が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポタリングみたいな 散走コンテンツの開発・実施, 食育(農×自転車) ・スポーツ合宿・トレーニングとの連携, 高校生が参加するイベントの企画 ・フェリーやバスとの協力 ・MTB・郡民大会の開催, 島民の自転車文化・ルールの認知 ・モニターツアー検証(複数回の実施), グラベルアシスト自転車の導入 ・12H耐久や島一周, 八巻線クリテリウム大会の誘致
与論島協議会	<p>[R4より開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源とサイクリングとの融合 ・台風通過後の路面整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド付きツアーが無いので, ガイド養成が課題 ・レンタサイクルの需要は高いが, 案内できない ・インバウンド対応が急務(沖縄からの訪日客流入が急増) ・外周ルートだけではなく, 散歩コースのようなルートも開拓したい

[2]情報発信 ① (サイクルツーリズムに関する情報収集, 県HPへの情報掲載, マップの作成と配布)

- ◆サイクルツーリズムに関する情報収集(レンタサイクル・サイクルショップ・アクティビティ事業者・交通機関)
- ◆県HPに情報掲載(特集ページに掲載, サイクルステーション・宿泊施設については県認証制度と同期)
- ◆紙媒体としてサイクリング情報を掲載したマップの作成と配布(A2判, 折り畳み, カラー, 表裏)

6種類	奄美大島北部	奄美大島中南部	喜界島	徳之島	沖永良部島	与論島
日本語	3,000部	3,000部	2,500部	2,500部	2,500部	2,500部
英語	500部	500部	250部	250部	250部	250部

イベント参加に合わせて, 3月上旬完成予定。

アクセス情報, サイクリング情報, モデルルート, 注意喚起, 立寄りスポット(観光)情報等。

モデルルートの詳細地図は県HP掲載のWEBマップ(アプリ)と情報連携し, 紙媒体はポケットに入れるハンディガイドマップの用途。

奄美群島内の観光関係団体, 空港, 港, マップ掲載店舗へ配布予定。



[3]情報発信 ② (CYCLE MODE OSAKA2024出展 3月2日[土]~3日[日] 会場:大阪万博記念公園)



- 国内最大級で開催される自転車愛好家向けのイベントに「奄美群島サイクルツーリズム」として航空会社peach社と連携して出展し, 作成したマップ等を用い, 奄美群島のサイクルツーリズムモデルコースのPRを行う。(参考 前年度入場者数:2日間累計 約13,000人)
- 会場は「ジテンシャx旅」エリア。ブース内で奄美群島への誘客に資する取組を行う。近接する県下の出展団体とも連携しながら, 鹿児島県へのサイクリングによる観光を誘客したい。
- 来訪者へアンケート調査を行い, 認知度・動向を分析。抽選によるインセンティブとして, 「peach関空=奄美往復航空券」相当額のピーチポイントや各島物産名産品, 参加賞等を用意。
- イベントの主たる客層の輪行によるサイクリストをはじめ, 奄美群島にはeバイクをはじめレンタサイクルも充実していることから, 来場者にも多い初中級者の手ぶらによる奄美群島への誘客を掘り起こしたい。

今年度事業報告 錦江湾奥地域部会

実施主体:錦江湾奥会議

(1)モデルルート(錦江湾奥ルート)の承認

第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会にて、賛成多数の承認をもって、可決(令和5年7月7日 通知)

(2)サイクルツーリズム特集HPの作成

錦江湾奥ルート紹介ページを県観光サイトに掲載(R6年3月公開予定)



(3)錦江湾奥会議セールス事業にて、ルートPR及び先進地視察

【福岡セールス(11月27~29日)】

各メディア・旅行会社にPR ※別紙資料のとおり

志賀島—海の中道サイクルツーリズム協議会へ視察

【東京セールス(12月12~14日)】

各メディア・旅行会社にPR ※別紙資料のとおり

ANAあきんど株式会社と意見交換

(4)招聘事業にて、サイクルルートの紹介

2月開催の招聘事業にてサイクルルートを一部走行

(2)サイクルツーリズム特集HP ※イメージ図



火山とカルデラの絶景を周遊する！錦江湾奥ルート

錦江湾奥及び桜島を一周できるルート。垂水市、霧島市、姶良市、鹿児島市の4市をまたがるルートであるため、さまざまな角度から錦江湾・桜島をみるすることができます。各市の様々な立ち寄りスポットに足を運ぶことも魅力の一つです。

立ち寄りスポット&グルメ情報



道の駅たるみずはまびら たるみずはまびら

錦江湾に面した桜島と薩摩富士とも呼ばれる間諺岳が望める道の駅です。地域の野菜や特産品を販売するマルシェや、肉・魚の直売所、レストラン、カフェがあります。併設するマリナーパークたるみずでは、SUPなどマリナー体験が楽しめます。



味処 海の桜鮎

垂水市のブランド高級カンパチ「海の桜鮎」を出荷している垂水市漁業協同組合の直営店。新鮮なカンパチを味わうことができます。



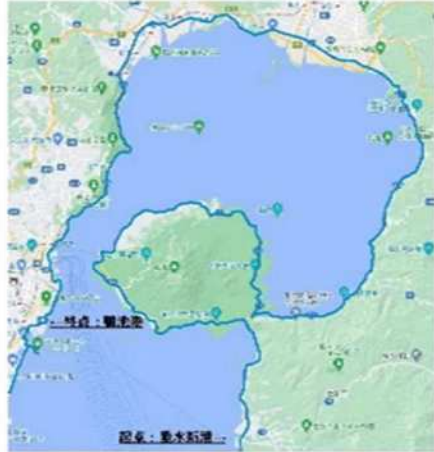
「桜島」溶岩なぎさ公園足湯

全長約100mと日本最大級の足湯。地下1,000mより湧出する天然温泉は、赤褐色の湯となっており、絶景を楽しみながら休憩することができます。近くの駅桜島火の島めぐみ館で桜島名物を味わうこともできます。

錦江湾奥を満喫 (サイクルツーリズム)

サイクリング体験

- ・・・錦江湾奥及び桜島を一周できるルートを認定。(令和5年度)
垂水市、霧島市、始良市、鹿児島市と4市をまたがるルートであるため、さまざまな角度から錦江湾・桜島をみることができます。



【総走行距離】約115 km

【特徴】湾内の海外線は、磯浜、砂浜、干潟、段崖そして溶岩など多様性に富んだ個性的な形状を呈しているほか、小さな島々も点在しており、特徴のある海岸景観がみられることが魅力。



錦江湾奥ルートの楽しみ方

コースの所要時間は、休憩を含んで10時間程度
錦江湾奥の魅力を感じ、楽しんでもらうため、要望に応じて様々な楽しみ方をご紹介します。
例えば、

1日で走破 (サイクル上級者)

- ・・・走行前日は垂水市に宿泊。
(おいしい料理とお酒を堪能)
走破後は、鹿児島市の温泉でゆっくりと。

複数日で走破 (サイクル中級者)

- ・・・垂水市→桜島→霧島市→始良市→鹿児島市と様々な観光スポットを巡る。
4市の景色、食事、温泉などをすべて堪能。

コース一部を走破 (サイクル初心者)

- ・・・桜島を一周などのコース一部を走破。
より、観光にスポットをあてて。
各市レンタサイクルにも対応しているため、初心者の方でも楽しめる。

・現在、より皆様に伝わるよう各部門でのモデルコースを検討中しています。



九州・山口サイクルツーリズムの取組について

【資料3】

実施主体：九州・山口サイクルツーリズム推進委員会（事務局：福岡県）

- 平成30年度から、九州・山口各県、経済界と連携し、九州・山口が「走ってよし、訪れてよし」の魅力的なサイクリングエリアになることを目指し、県域を跨ぐ広域推奨ルートの設定をはじめとする取組みを実施している。
- 2023年ツール・ド・九州、ディスカバー九州開催に向けて、機運を醸成するとともに、ナショナルサイクルートの指定に向けて各県で協調して受入環境整備を促進。

【事業推進フェーズ】

**第Ⅰ段階
(2019～2020年度)**

広域推奨ルートの設定

**第Ⅱ段階
(2021～2022年度)**

広域推奨ルートの受入環境整備
サイクルマップ等の情報発信

**第Ⅲ段階
(2023年度～)**

旅行商品造成をはじめとした
サイクルツーリズムの推進



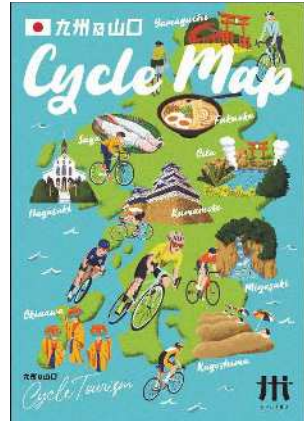
ルート名	
■	九州・沖縄・山口一周ルート
■	九州北部横断ルート
■	九州南部横断ルート
■	有明海一周ルート

九州山口の広域推奨ルートに活用した
本県の広域サイクリングルート

- 九州・沖縄・山口一周ルート
- 九州南部横断ルート



日本語版サイクルマップ



繁体字版サイクルマップ
(台湾旅行博で配布)

ナショナルサイクルルート指定に向けた取組の推進

- ・アクションプラン策定
- ・各県が協調し受入環境・走行環境整備を推進

2023年～（毎年開催）
ツール・ド・九州
ディスカバー九州開催

R5年度事業内容

①九州・山口広域推奨ルート(PR)するチラシを関西・中国・四国地方の自転車等へ配布

→鉄道(輪行)やフェリーでのアクセスが容易な関西, 中国, 四国地方をターゲットとした

②ナショナルサイクルルート(以下,「NCR」)指定に向けた現状の把握

→九州・沖縄・山口一周ルートのNCR指定要件の充足状況, 課題を可視化

③NCR指定に向けた勉強会の開催

(株)ARCHヒーロー北海道の高橋氏, ブリヂストンサイクル(株)の高井氏を講師に招き, NCR指定を目指す戦略と意味, NCR指定を受けている先進事例の取組を学ぶ

NCR指定に向けた取組はまちづくりにも寄与する, ゲートウェイや安全対策などのインフラ事業は地域住民にも恩恵があるということが大きな学びでした

④九州旅行博覧会への出展

→R6年2月24日(土)~25日(日)@福岡国際センターで開催される, 九州旅行博覧会にて, 九州・山口サイクルツーリズムのPRブースを出展

(参考)ナショナルサイクルルートとは



(概要)

- ・ナショナルサイクルルートとは、ルートの魅力や自転車の走行環境、サイクリストの受入環境などが高い水準にあるサイクルルートを国が指定したもの
- ・2019年に制度が創設され、現在6ルートが指定されている。
- ・指定を受けるためには、ルート設定、走行環境、受入環境、情報発信、取組体制の観点からなる様々な要件を満たす必要がある。

(指定要件(必須項目)の一例)

- ・ルートの延長がおおむね100kmであること
- ・矢羽根等により自転車通行空間が整備されていること
- ・鉄道駅などに、レンタサイクルや着替え場所等を備えた「ゲートウェイ」が整備されていること
- ・サイクルステーションがルート上におおむね20kmごと、サイクリスト向け宿泊施設がおおむね60kmごとに整備されていること



ディスカバー九州について

実施主体：ディスカバー九州推進委員会

国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」の開催にあわせて、九州・沖縄・山口各地域にて催行されるサイクリング周遊型旅行商品

実施主体	ディスカバー九州推進委員会（会長：九州観光機構会長）
実施時期	令和5年4月～令和6年3月
実施内容	①国内および海外を対象とした九州・沖縄・山口のサイクリング周遊型旅行商品の造成・販売・催行 ②国内および海外（台湾をはじめとしたアジア地域・欧米豪）のサイクルファンへの九州の認知度向上、九州・沖縄・山口の魅力発信
商品内容 (本県のルートのみ抜粋)	商品造成した全58ツアー（R6.1月時点）のうち、本県を通過するものは下記のとおり <欧米> ・南部九州コース 13泊14日 ・西海コース 13泊14日 <アジア> ・南部九州コース 7泊8日 <国内> 全て日帰り ・田園風景を守る田の神様を訪ねるライド ・薩摩藩島津の幕末歴史ライド ・火山が生んだ神秘の湖カルデラライド ・桜島の最高到達点へ！溶岩源めぐりライド

ディスカバー九州公式ホームページ

URL：
<https://cyclingisland-kyushu.com/index.html>



【参考】国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」について

九州の経済団体トップと各県知事で構成される九州地域戦略会議において、ラグビーワールドカップのレガシーの持続的継承や九州でのサイクルツーリズムの推進、近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして開催を決定したUCI(国際自転車競技連合)公認のサイクルロードレース

第1回大会は2023年10月6日(金)～9日(月・祝)に福岡県、熊本県、大分県で開催。

●第1回大会概要

- ・ 名 称 マイナビ ツール・ド・九州2023
- ・ 主 催 ツール・ド・九州2023実行委員会
一般社団法人ツール・ド・九州

ディスカバー九州に係る本県通過ルートについて

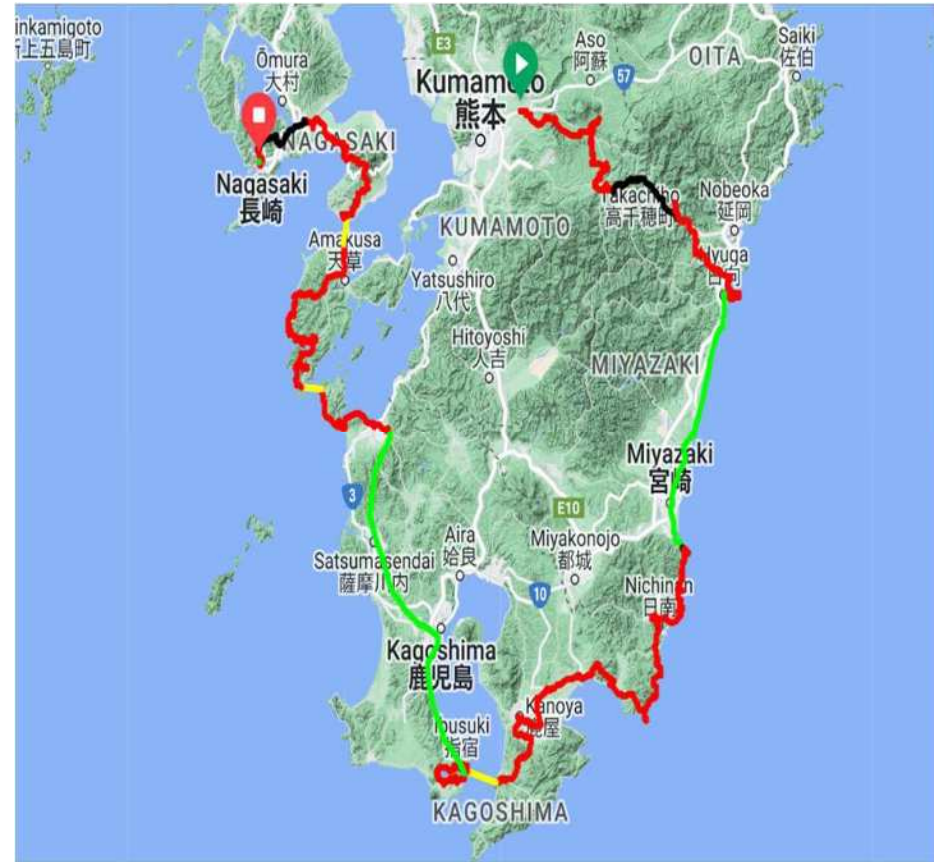
ルートの詳細 (1) : South Kyushu (南部九州)

欧米向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	750,000円～
旅行日数	13泊14日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	2名～ (8名)
設定時期	秋 : 7-11月 春 : 3-5月
商品内容公開 (セールス開始時期)	4月～

日本神話の起源と日本の皇室の血統が確立された九州南部を旅します。日本の伝説が語り継がれる崖、山道、さらには火山を旅します

自転車 サポートカー 電車 フェリー



対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	DAY8	DAY9	DAY10	DAY11	DAY12	DAY13
欧米 豪 南部九州	エリア	熊本県	熊本県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	宮崎県	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県 熊本県	熊本県	熊本県 長崎県	長崎県
	訪問地	入国	大津 南阿蘇 高森	高森 五ヶ瀬 高千穂	高千穂 比叡 日向	日向 宮崎 青島	鶴戸 日南 飫肥	飫肥 都井岬 串間	志布志 鹿屋 指宿	指宿 池田湖 鹿児島	出水 長島 牛深	崎津 妙見浦 下田	天草 島原 雲仙	雲仙 諫早 長崎
	宿泊地	熊本 (前泊)	高森	高千穂	日向	青島	飫肥	串間	指宿	鹿児島	天草	下田	雲仙	長崎

ルートの詳細 (2) : Western Seas Islands (SAIKAI 西海) Course

欧米向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	750,000円～
旅行日数	13泊14日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	2名～ (8名)
設定時期	秋：7-11月 春：3-5月
商品内容公開 (セールス開始時期)	4月～

九州エリアには何百もの島があり、このツアーでは最も素晴らしい島のいくつかをご案内します。これらの隠された宝石にたどり着くために自転車と海で旅することは、決して忘れられない冒険になります！

自転車 サポートカー 電車 フェリー



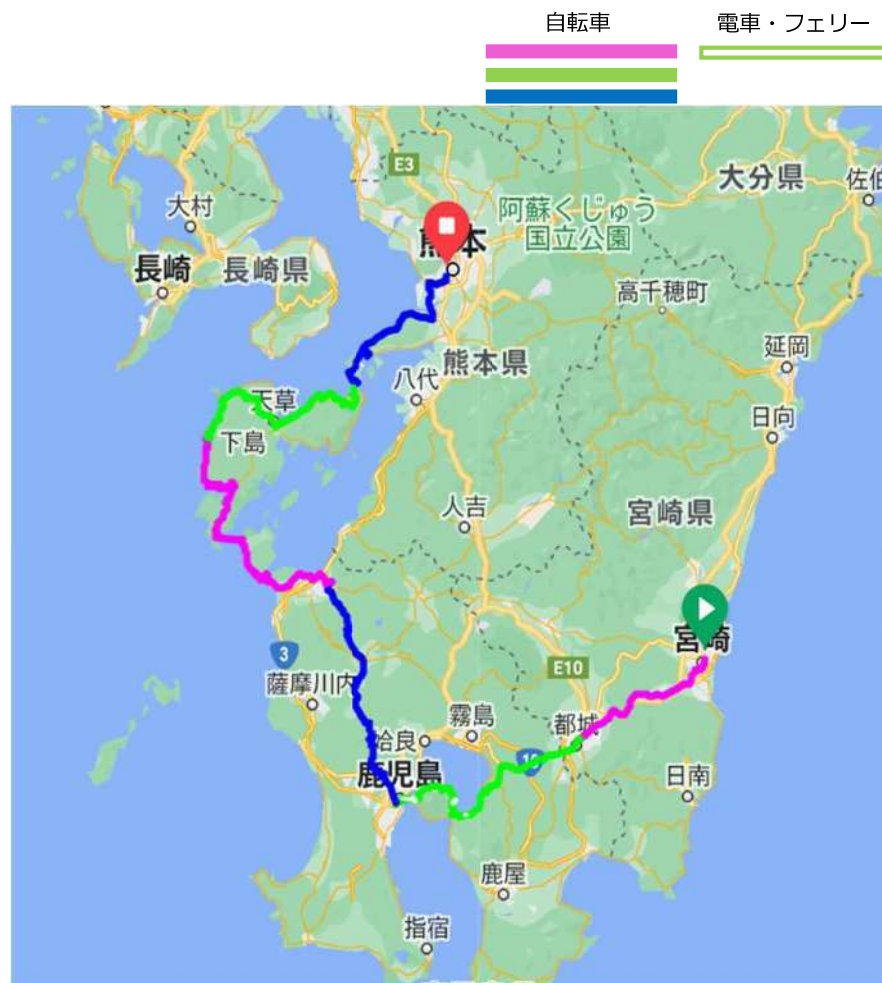
対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	DAY8	DAY9	DAY10	DAY11	DAY12	DAY13																					
欧米 豪	エリア	鹿児島県		鹿児島県		鹿児島県 熊本県		熊本県		熊本県		長崎県		長崎県																					
	訪問地	入国	鹿児島 島	桜島 鹿児島	出水 長島	牛深 崎津	妙見 浦	下田	下田	天草	南有馬	南有馬	西有家	雲仙	雲仙	千々岩	諫早	武雄	伊万里	博多	福江	富江	荒川	荒川	三井	福江	奈良	青方	有川	若松	奈良	福江	崎山	鏡瀬	長崎
	宿泊地	鹿児島 (前泊)		鹿児島		天草		下田		島原		雲仙		諫早		フェリー泊 (博多港発)		五島		五島		上五島		五島		長崎									

ルートの詳細 (3) : South Kyushu_2

アジア向け

販売価格 (概算) ※国際航空券含まず	300,000円～
旅行日数	7泊8日 (前泊含む)
最少催行人員 (最大募集人員)	4名～ (12名)
設定時期	春 : 4 - 5月 秋 : 9 - 11月
商品内容公開 (セールス開始時期)	3月～

Day2	都城
Day3	桜島、鹿児島島の歴史
Day4	八重の里、鷹子神社の埋没鳥居、入来麓武家屋敷群
Day5	出水鶴の飛来地、天草
Day6	天草の自然、食、夕日
Day7	熊本の歴史、熊本城



対象市場	調査ルート	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7												
アジア	エリア	宮崎県		宮崎県		宮崎県/鹿児島県		鹿児島県		鹿児島県/熊本県		熊本県		熊本県						
	訪問地	入国	宮崎	青井岳	都城	都城	桜島	鹿児島	鹿児島	さつま	出水	出水	崎津集落	天草	下田	イルカ鑑賞	上天草	三角	長部田海床路	熊本市内
	宿泊地	(前泊) 宮崎市内		都城市内		鹿児島市内		出水市内		下田温泉		上天草市内		熊本市内						

ルートの詳細 (4) : 国内向けコース

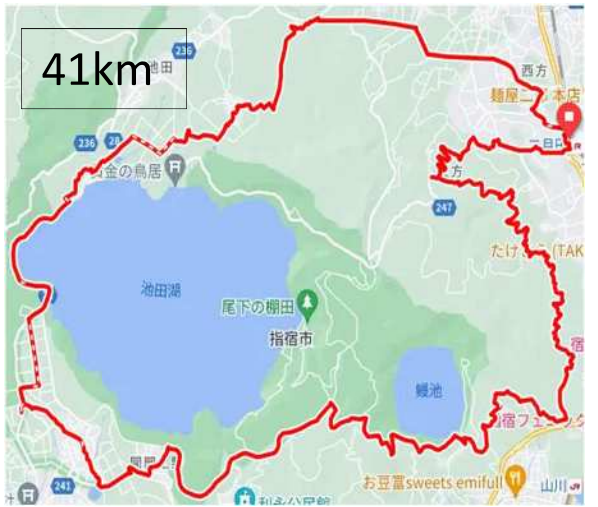
田園風景を守る田の神様を訪ねるライド (南さつま市)

 <p>18km</p>	起点/終点 サイクリングターミナルりんりん
	催行日時 8月6日(日) 8月27日(日) 11月19日(日) 2月11日(日) 各日13:30~ (3.5時間)
	料金 8,800円

薩摩藩島津の幕末歴史ライド (鹿児島市)

 <p>12km</p>	起点/終点 kagonico
	催行日時 毎週水曜日以外 (リクエストベース) 9:00~ (3時間)
	料金 8,800円

火山が生んだ神秘の湖カルデラライド (指宿市)

 <p>41km</p>	起点/終点 二月田駅
	催行日時 9月24日(日) 12月3日(日) 2月25日(日) 各日13:30~ (3.5時間)
	料金 8,800円

桜島の最高到達点へ！溶岩源めぐりライド (鹿児島市)

 <p>16km</p>	起点/終点 国民宿舎レインボー桜島
	催行日時 毎日(リクエストベース) 9:00/13:30 (3時間)
	料金 8,800円

R6年度サイクルツーリズム推進事業(案)

【資料5】

<目的>

本県の自然・景観など豊かな地域資源を活かしたサイクルモデルルートを設定し、国内外へ地域の魅力を発信することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進することを目的とする。

事業内容

- (1)県サイクルツーリズム推進協議会(地域部を含む)の開催
モデルルートや受入体制,情報発信など,本県におけるサイクルツーリズムに関する情報共有や意見交換,取組方針の合意形成を図る場として「県サイクルツーリズム推進協議会及び地域部会」を運営。
- (2)るるるFREE九州山口沖繩サイクル旅&スタンプラリーへの参加
各エリアの観光地に設置されているGPSスタンプを獲得し,獲得数に応じて商品券や地域の特産品など賞品が当たるスタンプラリー企画を九州・山口・沖繩各県と連携して実施。
- (3)サイクルステーション等整備支援事業補助
サイクルステーションを整備する施設,自転車を安心して屋内に保管できる設備を整備する宿泊施設に対し,費用の一部を補助。
- (4)サイクルツーリズム特集HPの運営
県観光サイト内「かごしまの旅」に掲載されているサイクルツーリズム特集HPの更新等を実施。

九州・山口サイクルツーリズム

- ・九州・山口サイクルツーリズム推進委員会による情報発信
- ・国際サイクルレース「ツール・ド・九州」と併せて販売するサイクリング周遊型旅行商品「ディスプレイカバー九州」に係るプロモーション事業

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約

(名称)

第1条 本会は、鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本協議会は、県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県の自然・景観など豊かな地域資源を活かしたサイクルモデルルートを設定し、国内外へ地域の魅力を発信することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進することを目的とする。

(内容)

第3条 前項の目的を達成するため、次に掲げる事項に関し、協議・検討する。

- (1) 鹿児島県におけるサイクルモデルルートの設定
- (2) サイクルツーリズムに係る情報発信
- (3) サイクルツーリズムに係る受入環境
- (4) その他サイクルツーリズム推進に係る事項

(組織)

第4条 協議会は、自転車及び観光に関わる関係機関をもって組織する。(別表1)

(任意入退会)

第5条 協議会は、任意に入退会することができる。

(座長)

第6条 協議会に座長を置き、会員の互選によりこれを定める。

2 座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、座長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

(部会)

第7条 協議会は、地域ごとに部会を設け、検討を行うことができる。

(事務局)

第8条 本会の事務を処理するために事務局を置く。協議会の事務局は鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課内に置く。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この規約は、令和3年7月8日から施行する。

令和4年4月1日 一部改正

別表 1 (第 4 条関係)

96 団体 (令和 5 年 6 月 7 日時点)

市町村	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	阿久根市
	出水市
	指宿市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
	日置市
	曾於市
	霧島市
	いちき串木野市
	南さつま市
	志布志市
	奄美市
	南九州市
	伊佐市
	姶良市
	さつま町
	長島町
	湧水町
	大崎町
	東串良町
	錦江町
	南大隅町
	肝付町
	中種子町
	南種子町
	屋久島町
	大和村
	宇検村
	瀬戸内町
龍郷町	
喜界町	
徳之島町	
天城町	

市町村	伊仙町
	和泊町
	知名町
	与論町
国土交通省 九州地方整備局	鹿児島国道事務所
	大隅河川国道事務所
	川内川河川事務所
観光関連団体	公益社団法人 鹿児島県観光連盟
	公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会
	枕崎市観光協会
	株式会社まちの灯台阿久根
	一般社団法人 出水市観光特産品協会
	公益社団法人 指宿市観光協会
	一般社団法人 日置市観光協会
	一般社団法人 曾於市観光協会
	公益社団法人 霧島市観光協会
	いちき串木野市観光特産品協会
	一般社団法人 南さつま市観光協会
	一般社団法人 奄美群島観光物産協会
	一般社団法人 志布志市観光特産品協会
	南九州市観光協会
	一般社団法人 始良市観光協会
	一般社団法人 さつま町観光特産品協会
	一般社団法人 南大隅町観光協会
	肝付町観光協会
	屋久島観光協会
	喜界島観光物産協会
	一般社団法人 徳之島観光連盟
	一般社団法人 おきのえらぶ島観光協会
	株式会社薩摩川内市観光物産協会
	株式会社おおすみ観光未来会議
一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟	
一般社団法人 いぶすき観光デザイン	
サイクル関係者	鹿児島県自転車競技連盟
	鹿児島県サイクリング協会
交通関係者	九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社
	肥薩おれんじ鉄道株式会社
	鹿児島県旅客船協会

交通関係者	日本エアコンピューター株式会社
	鹿児島空港ビルディング株式会社
	一般社団法人 鹿児島県タクシー協会
	公益社団法人 鹿児島県バス協会
その他関係団体	社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会
	一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会
	一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会
鹿児島県警察本部	交通部交通規制課
鹿児島県	観光・文化スポーツ部 P R 観光課
	観光・文化スポーツ部 スポーツ振興課
	総務部男女共同参画局 暮らし共生協働課
	総合政策部 交通政策課
	土木部 道路維持課
	鹿児島地域振興局
	南薩地域振興局
	北薩地域振興局
	始良・伊佐地域振興局
	大隅地域振興局
	熊毛支庁
	熊毛支庁 屋久島事務所
	大島支庁

令和5年度 第2回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会参加者名簿

NO.	出欠	自治体（団体）名称	担当窓口（部署）	出席者氏名	備考	
1		鹿児島市	観光交流局スポーツ課	主任 西 悠	出席 / 現地会場での参加 会場：県民交流センター	
2		鹿屋市	農林商工部 ふるさとPR課	主任主事 福元 知菜	出席 / Zoomでのオンライン参加	
3		鹿屋市	市民生活部 市民スポーツ課 市民スポーツ係	地域おこし協力隊 高田 奈生	出席 / Zoomでのオンライン参加	
4		鹿屋市	市民生活部 市民スポーツ課 市民スポーツ係	主事 黒原 尚武	出席 / Zoomでのオンライン参加	
5		枕崎市	水産商工課観光交流係	主事 守崎 伶	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		阿久根市	商工観光課 観光推進係		欠席	
		阿久根市	都市建設課 建設係		欠席	
6		出水市	商工観光部 商工観光課 観光振興係	主査 三角 大地	出席 / Zoomでのオンライン参加	
7		指宿市	産業振興部 観光課 観光PR係	主幹兼係長 田中 恭介	出席 / Zoomでのオンライン参加	
8		西之表市	経済観光課	主査 川村 勇矢	出席 / Zoomでのオンライン参加	
9		垂水市	水産商工観光課	課長補佐兼観光・シオパーク係長 大迫 隆男	出席 / Zoomでのオンライン参加	
10		垂水市	水産商工観光課 観光・シオパーク係	副主幹 後迫 智洋	出席 / Zoomでのオンライン参加	
11		薩摩川内市	観光物産課	グループ員 田畑 隆博	出席 / Zoomでのオンライン参加	
12		日置市役所	総務企画部商工観光課観光戦略係	主事補 小坂元 咲瑠	出席 / Zoomでのオンライン参加	
13		曾於市	商工観光課 観光振興係	主査 田崎 啓太郎	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		曾於市	教育委員会生涯学習課生涯スポーツ係		欠席	
		曾於市	土木課		欠席	
14		霧島市	商工観光部 観光PR課 観光振興グループ	主査 今吉 健悟	出席 / Zoomでのオンライン参加	
15		いちき串木野市	シティセールス課 食のまち・シティセールス係	主任 富吉 昭吾	出席 / Zoomでのオンライン参加	
16		南さつま市	産業おこし部 観光交流課 観光交流係	主任 小原 和彦	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		志布志市	シティセールス室観光特産品係		欠席	
17		奄美市	商工観光情報部観光課 観光政策係	主事 羽 貴昭	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		南九州市	商工観光課 観光交流係		欠席	
		伊佐市	地域振興課		欠席	
18		始良市	商工観光課	課長補佐兼観光係長 永田 浩	出席 / Zoomでのオンライン参加	
19		さつま町	商工観光PR課 観光PR係		市来 瑠乃	出席 / Zoomでのオンライン参加
		長島町	水産景観課		欠席	
		湧水町	商工観光PR課		欠席	
20		大崎町	商工観光課 広報観光係	主事 坪内 幸之介	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		東串良町	企画課 地域振興兼企画広報係		欠席	
		錦江町	観光交流課		欠席	
		南大隅町	企画観光課 観光推進係		欠席	
21		肝付町	林務水産商工課	商工観光課係 中原 友裕	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		中種子町	企画課		欠席	
		南種子町	企画課		欠席	
		屋久島町	観光まちづくり課 観光推進係		欠席	
22		大和村	企画観光課	主査 藤村 雄樹	出席 / Zoomでのオンライン参加	
23		宇検村	企画観光課		竹下 世利人	出席 / Zoomでのオンライン参加
		瀬戸内町	水産観光課		欠席	
		龍郷町	企画観光課		欠席	
24		喜界町	企画観光課	主事 登 聖佳	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		徳之島町	おもてなし観光課		欠席	
25		天城町	商工水産観光課		真田 裕史	出席 / Zoomでのオンライン参加
26		伊仙町	きゅらまち観光課	係長 森 人志	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		和泊町	企画課		欠席	
		知名町	企画振興課		欠席	
		与論町	商工観光課		欠席	
		国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所	交通対策課		欠席	
27		国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	総務課	総括地域防災調整官 大宅 康平	出席 / 現地会場での参加 会場：県民交流センター	
28		国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	道路管理課	課長 矢野 幸樹	出席 / 現地会場での参加 会場：県民交流センター	
29		国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所	道路管理課	専門職 長友 幸一	出席 / 現地会場での参加 会場：県民交流センター	
30		国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所	調査課	専門調査官 辛木 剛	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		公益社団法人鹿児島県観光連盟	国内誘致部		欠席	
31		公益社団法人鹿児島観光コンベンション協会	観光推進部	部長 大坪 聡	出席 / Zoomでのオンライン参加	
		枕崎市観光協会			欠席	
		株式会社まちの灯台阿久根			欠席	
32		一般社団法人 出水市観光特産品協会	企画営業部	主査 前田 輝	出席 / Zoomでのオンライン参加	

NO.	出欠	自治体(団体)名称	担当窓口(部署)	出席者氏名	備考
		公益社団法人 指宿市観光協会	総務		欠席
		一般社団法人 日置市観光協会	事務		欠席
		一般社団法人 曾於市観光協会	観光部門		欠席
		公益社団法人 霧島市観光協会	本部事務所		欠席
		一般社団法人 志布志市観光特産品協会	総務・観光		欠席
		いちき串木野市観光特産品協会			欠席
33		一般社団法人 南さつま市観光協会	観光物産係	観光物産係マネージャー 柳下 天祐	出席 / Zoomでのオンライン参加
		一般社団法人 奄美群島観光物産協会	観光部		欠席
		南九州市観光協会	観光部		欠席
34		一般社団法人 始良市観光協会	事務局	事務局長 渡辺 秀文	出席 / Zoomでのオンライン参加
		一般社団法人 さつま町観光特産品協会	事務局		欠席
35		一般社団法人 南大隅町観光協会	なし	中村 保成	出席 / Zoomでのオンライン参加
36		肝付町観光協会	事務局	梶原 和貴	出席 / Zoomでのオンライン参加
		屋久島観光協会	事務局		欠席
37		喜界島観光物産協会	事務局	事務局長 田邊 大智	出席 / Zoomでのオンライン参加
38		一般社団法人 徳之島観光連盟	事務局	事務局長 林 美樹	出席 / Zoomでのオンライン参加
		一般社団法人 おきのえらぶ島観光協会	事務局		欠席
		株式会社 薩摩川内市観光物産協会	観光旅行事業部		欠席
		株式会社 おおすみ観光未来会議	事業推進部		欠席
39		一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟	事務局	事務局長 山田 春輝	出席 / Zoomでのオンライン参加
40		いぶすき観光デザイン	総務	事務局長 園田 浩一郎	出席 / Zoomでのオンライン参加
		鹿児島県自転車競技連盟	事務局		欠席
		鹿児島県サイクリング協会	事務局		欠席
		九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社	営業運輸課		欠席
41		肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業部 営業戦略室	係長 鬼塚 崇	出席 / Zoomでのオンライン参加
42		鹿児島県旅客船協会	事務局	事務局長 平田 勇夫	出席 / Zoomでのオンライン参加
		日本エアコミューター株式会社	地域連携部		欠席
43		鹿児島空港ビルディング株式会社	事業広報部 事業広報課	マネージャー 日高 友和	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
44		一般社団法人 鹿児島県タクシー協会		中友 潔	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
		公益社団法人 鹿児島県バス協会			欠席
45		鹿児島県警察本部	交通部 交通規制課	主任 佐川 拓也	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
46		鹿児島県	観光・文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツツーリズム係	主査 未永 美知	出席 / Zoomでのオンライン参加
		鹿児島県	総合政策部 交通政策課 幹線交通係		欠席
47		鹿児島県	土木部 道路維持課 改良施設係	技術主幹兼改良施設係長 渡辺 貴彦	出席 / Zoomでのオンライン参加
48		鹿児島県	土木部 道路維持課 改良施設係	技術専門員 福永 秋一	出席 / Zoomでのオンライン参加
		鹿児島県	男女共同参画局 暮らし共生協働課 暮らし安全係		欠席
49		鹿児島県鹿児島地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事 高風 皓世	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
50		鹿児島県南薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	係長 是枝 明美	出席 / Zoomでのオンライン参加
51		鹿児島県南薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事 角 大地	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
52		鹿児島県北薩地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主査 米盛 洋子	出席 / Zoomでのオンライン参加
53		鹿児島県始良・伊佐地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事 畑 亮巨	出席 / Zoomでのオンライン参加
54		鹿児島県大隅地域振興局	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事 三月田 千夏	出席 / Zoomでのオンライン参加
55		鹿児島県熊毛支庁	総務企画部 総務企画課 地域振興係	主事 東馬場 奈菜	出席 / Zoomでのオンライン参加
56		鹿児島県熊毛支庁	屋久島事務所 総務企画課	主幹 池田 洋一	出席 / Zoomでのオンライン参加
57		鹿児島県熊毛支庁	屋久島事務所 総務企画課	主事 木村 尚香	出席 / Zoomでのオンライン参加
58		鹿児島県大島支庁	総務企画部 総務企画課 商工観光係	商工観光係長 納山 尚樹	出席 / Zoomでのオンライン参加
59		鹿児島県大島支庁	総務企画部 総務企画課 商工観光係	主査 今村 菜月	出席 / Zoomでのオンライン参加
60		社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会	スポーツ情報課	課長 前田 究	出席 / 現地会場での参加 会場: 県民交流センター
		一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会	事務局		欠席
		一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会	事務局長		欠席

事務局

1		CCCチャリン・コ・クリエーション株式会社	代表取締役	黒川 剛	座長・有識者
2		合同会社 トビチカンパニー (grav bicycle)	代表	小口 良平	有識者
3		鹿児島県	観光・文化スポーツ部 P R観光課	課長 廻 秀仁	県
4		鹿児島県	観光・文化スポーツ部 P R観光課	主幹 東條 篤史	県
5		鹿児島県	観光・文化スポーツ部 P R観光課	主事 鹿島 美幸	県
6		A N A あきんど株式会社	営業統括室 地域創生部	シニアマネージャー 白井 勝	受託事業者
7		A N A あきんど株式会社	営業統括室 地域創生部	アシスタントマネージャー 二村 亜希	受託事業者
8		A N A あきんど株式会社	営業統括室 地域創生部	角屋 美帆	受託事業者

令和5年度 第2回鹿児島県サイクルツーリズム推進事業協議会 議事録

日 時	令和6年2月15日（木） 14:00～16:00
開催場所	かごしま県民交流センター(オンライン併催)
出席者	鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 廻課長、東條主幹、鹿島主事 CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役社長 黒川 剛 様 自転車冒険家 小口 良平 様 ANAあきんど株式会社 営業統括室 地域創生部 企画チーム 白井、二村、角屋 参加者 会場 9名 オンライン49名 合計 58名
議事内容	<p>1. 協議会 議題内容</p> <p>(1)開会</p> <p>(2)議事</p> <p>1.報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1、2 【説明者:ANA あきんど株式会社 白井、二村】 【説明者:大島支庁 奄美群島サイクルツーリズム構築事業 受託事業者】 【説明者:始良市 商工観光課 緒方主査】 ・九州・山口サイクルツーリズムの取り組みについて・・・・・・・・・・資料 3 ディスカバー九州について 【説明者:鹿児島県 PR 観光課 鹿島主事】 ・県管理道路の自転車通行空間整備について・・・・・・・・・・資料 4 【説明者:鹿児島県 道路維持課 福永技術専門員】 ・令和 6 年度事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 5 【説明者:鹿児島県 PR 観光課 鹿島主事】 <p>2.意見交換</p> <p>3.今年度の振り返り、今後のサイクルツーリズム推進に向けて 【自転車冒険家 小口良平氏】</p> <p>4.座長総括</p>

	<p>(3)閉会</p> <p>【会議資料】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資料1 令和 5 年度の取組(県サイクルツーリズム推進協議会)について</p> <p>資料2 令和 5 年度の取組(各地域部会)について</p> <p>資料3 九州・山口サイクルツーリズムの取り組みについて</p> <p>資料4 県管理道路の自転車通行空間整備について</p> <p>資料5 令和 6 年度事業について</p> <p>別紙1 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約</p> <p>別紙2 第 2 回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会参加者名簿</p> </div>
--	---

1.開会

●閉会挨拶（県 PR観光課 廻課長）

本日はご参加いただき感謝申し上げます。令和3年度から、推進協議会、地域部会を設置すると共にモデルルートの設定、モニターツアーや各種セミナーの開催等サイクルツーリズムの推進に取り組んでいます。

昨年10月に、国際サイクルロードレースのツール・ド・九州が、福岡、大分、熊本で開催されたが、それに合わせて、九州沖縄山口に各地域におけるサイクリング周遊型旅行商品が販売され、鹿児島国体でも自転車競技が正式種目として開催されたところ。また、今月にも国内最高峰のロードレースシリーズのJプロツアーの開幕戦が昨年引き続き鹿児島で開催される予定であり、サイクルツーリズムの機運が更に高まることを期待している。

次年度以降も、本協議会の皆様や地域の皆様と連携を図りながら情報発信や受入環境整備に取り組んでいきたい。本日の協議会が有意義なものになることを祈念し、開会の挨拶とする。

2.報告事項

●黒川座長

自転車をツールにしたまちづくりを行っており、本事業では、座長を3年務めている。令和5年度の活動報告について、受託事業者であるANAあきんど担当者より説明する。

(1) 令和5年度の取り組みについて

●鹿児島県サイクルツーリズム推進事業

- ・地域部会
- ・受け入れ環境整備
- ・モニターツアー
- ・インフルエンサーによる情報発信

<動画2本 ご紹介> 大隅ルート、南薩ルート

ANAあきんど 二村より資料1 P2~20に沿って説明

- ・サイクルナビゲーター養成講座
（フォローアップセミナー含む）

ANAあきんど 白井より資料1 P21～27に沿って説明

- 大島地域部会

大島支庁 奄美群島サイクルツーリズム構築事業受託事業者より資料2 P1～3に沿って説明

- 九州・山口サイクルツーリズムの取り組みについて・ディスカバー九州について
鹿児島県 PR 観光課 鹿島主事より資料3に沿って説明

※通信環境の不具合により発表者を入れ替えて対応

- 錦江湾奥会議

始良市 商工観光課 緒方主査より資料2 P3～4に沿って説明

- 国土交通省 大隅河川国道事務所 大宅 総括地域防災調整官

矢羽根を引くにあたり、道路管理費は予算が決められているが、サイクリストにヒアリングし、設置の間隔を500mピッチに広げ整備をしている。なお、桜島、垂水については整備が終了している。残るは鹿屋市となるが来年度の初めには全て整備が終了する予定である。

また、新しく道路を整備する事業も実施しており、これから作る道路においては、路肩を自転車通行帯として整備をしており、車と人と自転車を分離した道路で整備する手法を取っているほか、既存の道路整備においても古江バイパス等一部のエリアでは、自転車通行帯を導入している。

- 県管理道路の自転車通行空間整備について

鹿児島県 道路維持課 福永技術専門員より資料4に沿って説明

- 黒川座長

矢羽根の効果は大きい。県外からの来訪者にとっては、自転車も走れる道路という目印になりサイクリストにとって走りやすい環境となり、ドライバーにとっても注意喚起となると考える。

矢羽根の整備が進んでいくことにより、ドライバーも含めた道路環境の認識が高まっていくと考える。

道路整備について、議事録を配布する際にアンケートを実施させていただく予定である。

その際にご質問ご意見をいただきたい。

- 質疑応答

- 国土交通省九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課 辛木 様

川内川流域ルートモニターツアーの際のモニターの方の評価や感想を教えて欲しい。

●自転車冒険家 小口良平氏

2007年に日本一周したが、錦江湾から海沿いを走行したので、今回のモニターツアーで内陸部の自然や里山などはキラコンテンツだと再確認した。大変魅力的なのに情報がサイクリストに届いていない。今回の動画もどこにアプローチしていくのかも皆で考えていきたい。食も大きな武器と考えるが、ターゲットのツーリストとサイクリストどちら用にも準備していきたい。

(2) 令和6年度事業について

鹿児島県 PR 観光課 鹿島主事より資料5に沿って説明]

2.意見交換

●磯の家 蔵野 智美 様

昨年度県の補助事業を活用し、サイクリスト向け宿の整備を実施した。また、今年度9月頃に薩摩川内警察署交通課からイベントのお声掛けをいただいた。警察側はイベントを通してヘルメット着用を推進することが主目的ではあったが、市内でサイクリストを増やしたいという思いがあり、親子向けの要素も含んだ内容で企画、チラシを作成しイベントに取り組んだ。

インスタグラムも開設し、DMでのお問い合わせやリクエストもいただいた。県外からのお客様から、前泊、後泊の問い合わせがあり、レンタサイクルの準備なども行った。

また、イベントにご参加いただいた方々に「選手と行く甕島ツアー」を企画し、磯の家への宿泊もいただき、一日かけて甕島を満喫いただけるツアーを催行した。

次回は早めに募集をし、今後も沢山の方に楽しんでいただきたい。



<イベントチラシ>

●黒川座長

北薩摩地域部会（川内川流域ルート）のワークショップをきっかけに、警察からのサイクリングイベント開催に前向きなお話があり、警察主導という珍しいイベントの開催が実現した。150名くらいが集まり、国体よりも厳重な警備で、安全にイベントを実施することができた。本協議会をきっかけに新しいイベントができたのは大きな成果であるとする。

参加された層もアテンド側にも新しい環境を知っていただけた。地域になんらかの恩恵があったと考える。この事例は、ひとつの成功事例として共有していきたい。

3.今年度の振り返り、今後のサイクルツーリズム推進に向けて

●自転車冒険家 小口良平氏

この1年何度も鹿児島を訪れたが、全国初の国立公園や世界遺産も3つある大観光地であり、非常に魅力的な土地であるが、観光において鹿児島をどのように販売していくかという観点で3点ご紹介したい。

①プロモーション

②受入環境（ハード・ソフト）

③アクセスの良さ（どこから流入してくるか）

東京、大阪、福岡 →その人たちへの発信、ターゲットに応じた環境整備

・サイクルツーリズムがなぜ大事か？（下記資料に沿って説明）

自転車：観光、移動、健康など

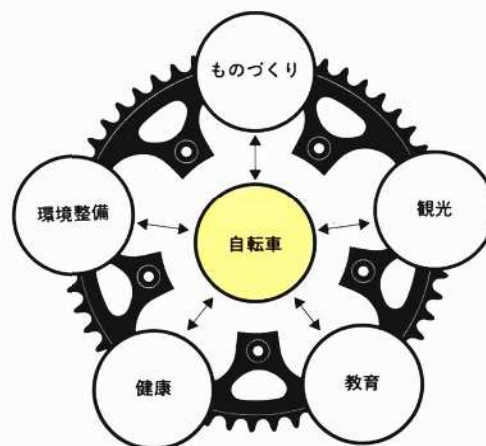
来訪者が来ると自転車の環境があることに地元民も気づく（観光）→健康→環境（教育）

social background

自転車まちづくり、自転車ガイドが地域が持つ様々なファンクションをつなぐコアとなる。

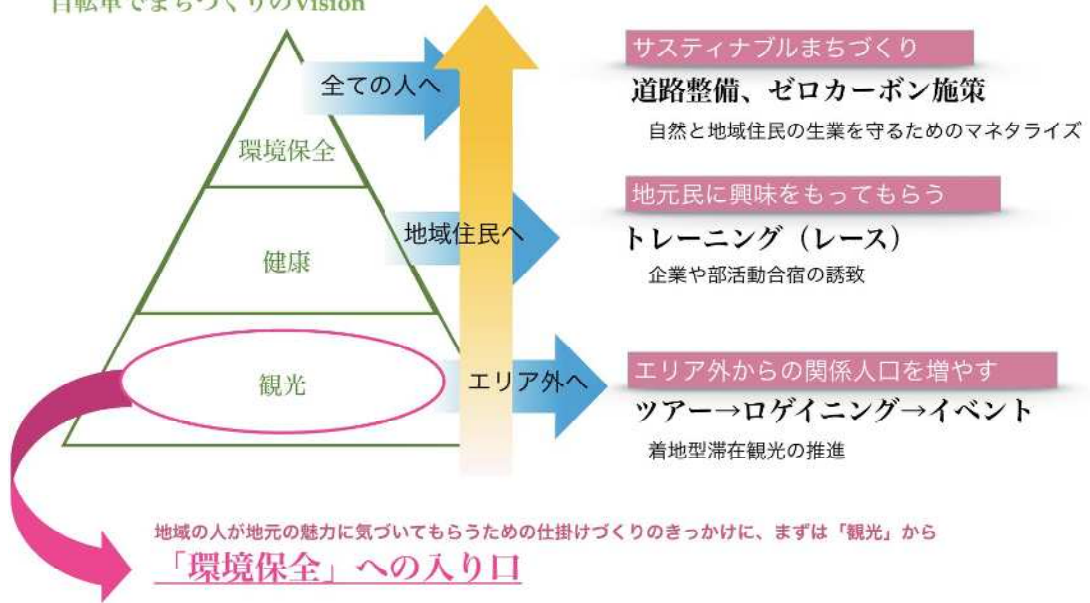
自転車の車輪が回り出すことで、地域の産業や教育や健康、観光、環境整備の推進に繋がっていくと考えています。

クリーンな人力エネルギーで前進していく自転車は、サステナブルなまちづくりへも繋がっていきます。



自転車でのまちづくりは観光がスタート

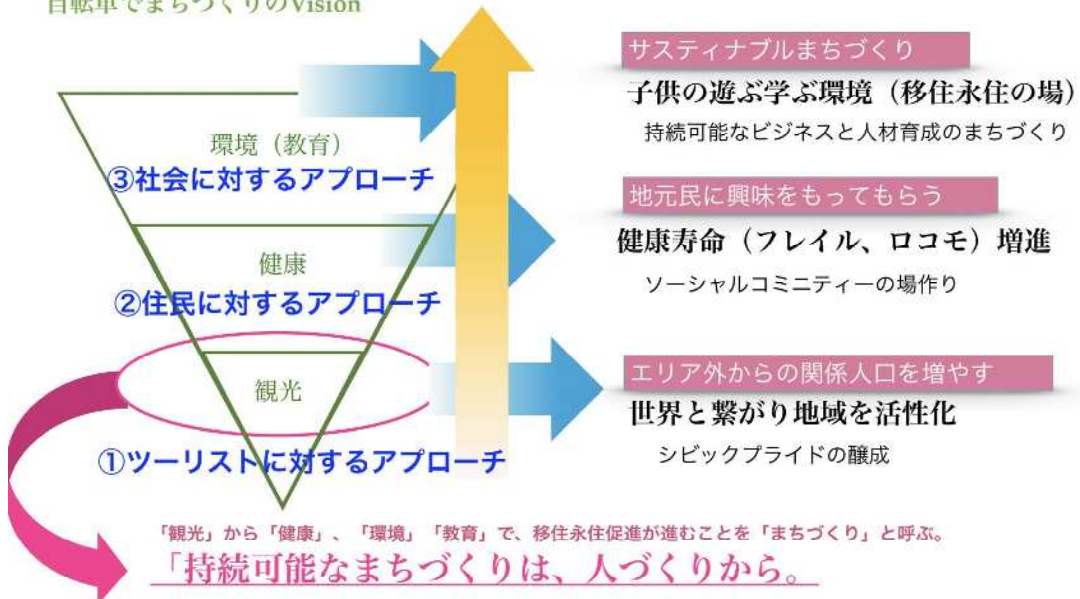
自転車でまちづくりのVision



日本はもっと「Health(ヘルス)」で「Eco(エコ)」ツーリズムを推進すべき！

自転車でのまちづくりは環境（教育）がゴール

自転車でまちづくりのVision

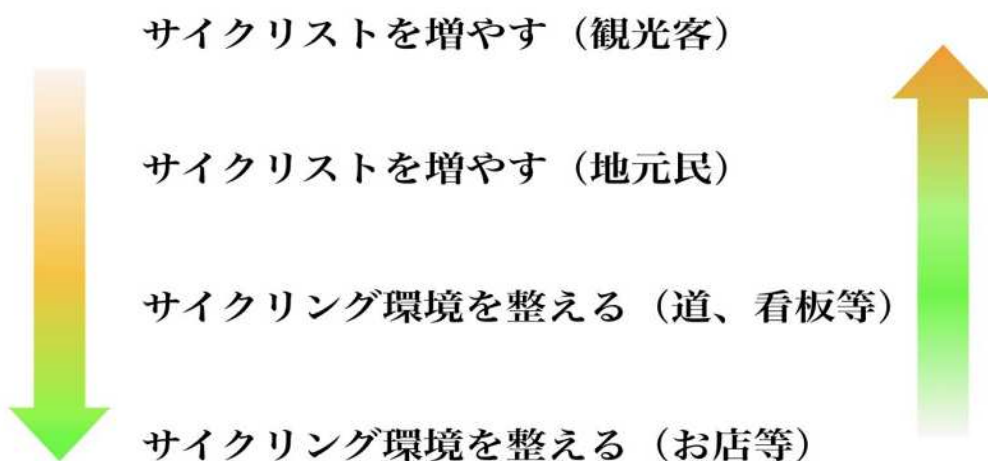


自転車まちづくりVisionは3カ年ごとのロードマップ計画が重要

「サイクルツーリズムから始まるメリット」

- 👉 高額投資せずにある**地域資源**が利活用できる。
- 👉 地域の**関係人口**を増やし広範囲に周知をできる。
- 👉 リピーターやファンを**移住者**に変えられる。
- 👉 地域の人が地元**誇り**を感じ活性化土壌が育つ。
- 👉 地域ニーズを拡大させる**民間**が**自発**してくる。
- 👉 地域の賛同を得ることで**行政**が**動きやすくなる**。
- 👉 高額事業予算付のできる行政出現で**官民連携拡大**。
- 👉 観光から健康寿命推進に繋がり、**医療費削減**。
- 👉 CO2削減等の**環境**に良い**エコタウン**をPRできる。
- 👉 健全社会、スポーツ振興、**生きがい**や仲間づくり
- 👉 **ものづくり**や**教育**、**企業創出**で**次世代の未来創生**

サイクリストウェルカムタウンを作るまでの道のり

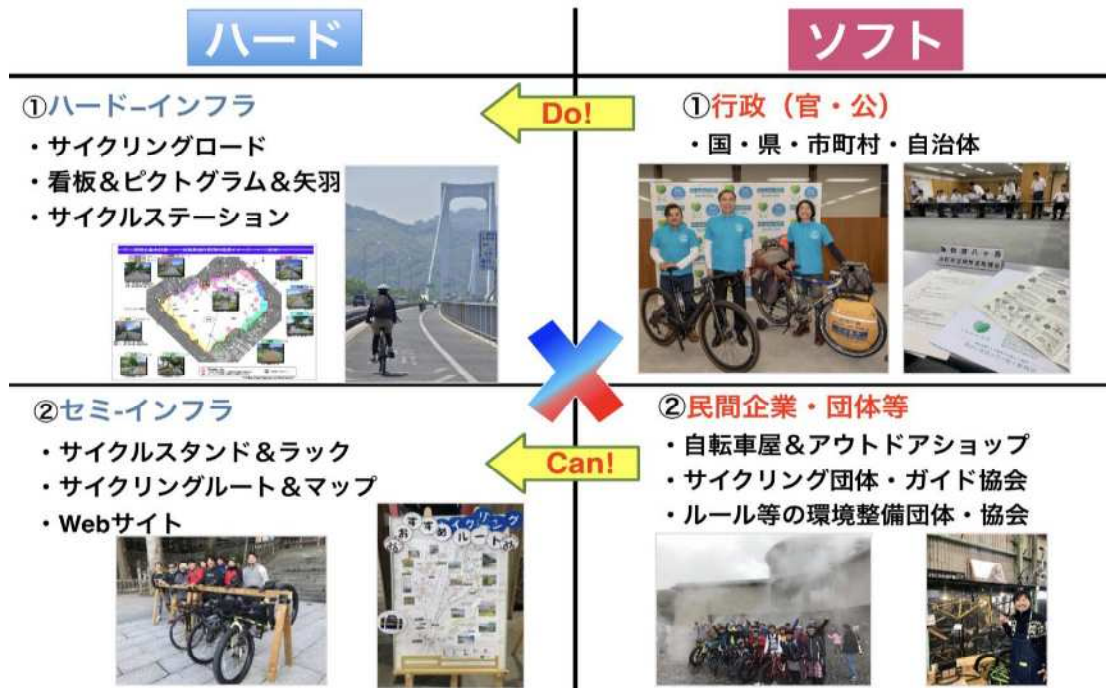


結論：自分がサイクリングガイドとして、町に視認化させるのが一番早い

～サイクルツーリズムの構造～



～サイクルツーリズムの構造～



官民連携で取り組むことや課題を一緒になって解決することが重要。行政の異動による事業の引き継ぎを民間へ伝えていくためにも地域のサイクルリーダーを育てることが必要。また、覚書という形で活用推進計画やロードマップにしていきながら引き継ぎをしていくことも有効である。

官民連携の推進

～100万km走り続けられる持続可能な地域づくり～

民間ステークホルダーが現れたときの行政のバックアップ仕方

盛り上がってきたときの、行政の民業圧迫のしない方法



民間が前に出て、行政がバックアップすることが非常に大事である。

まちづくりサイクルリーダーの重要性

【サイクリングガイド】

課題：「誰でも乗れる自転車で集客し収益事業ができるだろうか？」

「事業化するまでにすべき準備や投資が沢山ある」

「そもそもこの地域に魅せるところはあるのだろうか？」

解決：

「すでに事業化している企業、専門アドバイザー会社を探そう！」

相互の意向をマッチング（サイクルリーダーの役割）

「サイクリングガイドの労働環境を整えてあげよう！」

【サポート側（行政、企業等）】

課題：「交通渋滞を生んだり、事故は発生しないだろうか？」

「国、県、上司から自転車事業の圧力。何をしたらいいのだろうか？」

解決：

「起業したい人&アドバイザーを探し、補助金等を活用しよう！」

行政と民間の意向をマッチングするサイクルリーダーの存在が非常に大事。

サイクルリーダーとツアーガイドは別ものと考えており、サイクルリーダーは、自転車に乗れなくても良いと結論づけているが、ある程度の知識は必要であるため、サイクルナビゲーター養成講座を実施した。

また、九州でNCR認定を目指しているが、指定条件にツアーガイドがいるかどうかが含まれており、ガイディングの重要性が感じられる。今後のステップとしては、ガイディング、サイクルステーション等施設運営、マップ作成、地域でガイド養成、協議会設立、事業委託受注、補助事業受託の7ステップとなり、まちづくりのサイクルリーダー中心に取り組んでいくことが必要である。

grav school まちづくりサイクルツーリズムの成功方程式

- ①まちづくりサイクルリーダーの存在
- ②ジャンルの違う人材とのコラボレイティブ
- ③官民連携人材の不可欠
- ④日本中の人材とのネットワークの構築

縦(ガイド)×横(まちづくり)×奥行(行政)
✕
全国の偏愛者たち

鹿児島県はフィールド自体抜群に良い。ハード面の整備計画も始まり、まちづくりのリーダーたちも出てきている。コラボレーションで繋がられる活動ができればと考えている。1年を通して、地域の皆様、鹿児島県、事務局の方々に感謝申し上げます。

4.座長総括

本事業がスタートした3年前と比べると、皆さんの意識が変化しており、ワークショップでも地域の魅力紹介や商品化できるようなルートなど様々な意見が活発に出るようになった。

鹿児島は宝の山であり、鹿児島に人を呼んで、もっと元気にしたい。

宝は掘らないと出てこないのので、継続してこのメンバーで掘り起こしていくことが大切である。

サイクリストのセグメントについても、これまで一緒に学んできた。

それぞれのエリアにマッチするターゲットを捉えて商品化するのが大事であり、サイクルリーダーを中心にターゲットにあった環境を整え、取り込むことでたくさんのお金が地域に落ちる仕組みが構築できると考える。

また、公共の利便性も含め、企画を考えていくことが必要。広域での取り組みも重要であり他エリアとマップ作成も含め連携しながら誘客を実施することが効果的と考える。

インバウンドについても、大型客船や航空便を利用した韓国からの誘客など、ゴルフ以外のコンテンツでも楽しんでいただけるサイクルを活用した企画をしていきたい。

国や地域の持つニーズに合わせた企画を実施することが大切。

相手のニーズにマッチした満足度の高い商品を作る必要がある。

世界中に鹿児島を売り出し、沢山の方に訪れていただきたい。

次年度もみんなで連携して鹿児島のサイクルツーリズムを推進していきましょう。